

国立公園を支える人たち

国立公園管理などのため、環境省では全国に7の地方環境事務所と98の出先機関を設置しています。そこでは、自然保護官（レンジャー*）、アクティブ・レンジャーが働いています。また、パークボランティア**など、多くの人たちがレンジャーと力を合わせて活動しています。



自然保護官（レンジャー）

パートナーシップ

レンジャーのほか、大勢の人たちが国立公園のために活動しています。

パークボランティア

国立公園ごとに登録をして、自然解説、美化清掃、施設の簡単な修繕、自然の調査など、自分のできごとに合わせて活動してもらっています。いま、全国で約1,600人が登録されています。



子どもパークレンジャー

小学生から中学生のみなさんが、レンジャーやパークボランティアとともに、国立公園のパトロールや、動物や植物の簡単な調査などを行ないます。全国の国立公園などで夏休みを中心に毎年行なっています。



自然公園指導員

自然公園を訪れる人にルールを守ってもらうよう注意したり、遭難などの事故を防ぐためパトロールなどの活動を行なっています。また、公園内の施設が破損していないかどうかなどの状況報告を行なってもらっています。



グリーンワーカー

貴重な植物の盗掘防止や動植物調査、また、登山道の手入れのような特別な技術が必要とするなど、ボランティア活動では難しい仕事については、地元の人たちに行なってもらっています。



* 国立公園の現場にいる環境省の職員をレンジャーといいます。国立公園の様々な手続きを扱うほか、公園のパトロール、公園をどのように保護・利用していくかの計画づくり、環境省が持っている土地などの管理や公園の自然についての調査をしています。また、自然観察会を実施するなど、国立公園を訪れる人々とのふれあいの手助けもしています。

** パークボランティアや子どもパークレンジャーの募集については、各地方環境事務所等にお尋ねください。

どんな活動をしているか 公園管理団体の活動と風景地保護協定

阿 蘇くじゅう国立公園の阿蘇地域では、平成15年12月から、(財)阿蘇グリーンストックが公園管理団体として活動しています。公園管理団体は、環境大臣の指定を受けたNPO法人や公益法人で、自然の風景地の管理、歩道や園地等の点検・補修などを業務としており、同財団は、草原景観を保全するための野焼きなどの管理作業を支援しています。また、活動する地域の中には、一定期間、土地の所有者等に替わって管理を行う風景地保護協定の締結地があります。



野焼き（草原管理）作業